

熊本県感染症情報 (9月6日～9月12日)

KKT 熊本県民テレビ 医療サイト事務局

◆◆引き続き感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、手足口病の報告が多い◆◆

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	3	0	百日咳	2	2
RSウイルス感染症	0	1	ヘルパンギーナ	21	38
咽頭結膜熱	33	26	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	97	71
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	16	17	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	194	201	流行性角結膜炎 (はやり目)	21	12
水痘	29	36	細菌性髄膜炎	2	0
手足口病	52	59	無菌性髄膜炎	1	1
伝染性紅斑 (りんご病)	39	28	マイコプラズマ肺炎	3	1
突発性発しん	41	48	クラミジア肺炎	0	0

- 感染性胃腸炎は、報告数 194 件(前週報告数 201 件)と減少。
地区別では、宇城、山鹿、八代に多く報告がみられる。
年齢別では、1歳の 33 件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)は、報告数 97 件(前週報告数 71 件)と増加。
地区別では、八代、山鹿、宇城に多く報告がみられる。
年齢別では、3歳の 22 件を最多に、15～19 歳以下からの報告である。
- 手足口病は、報告数 52 件(前週報告数 59 件)と減少。
地区別では、宇城、八代、山鹿、天草に報告が多くみられる。
年齢別では、2歳の 15 件を最多に、5 歳以下からの報告である。

腸管出血性 大腸菌感染症 (O157など)

今週は3件の腸管出血性大腸菌感染症の報告があり、第1週からの累積は55件(患者：36人、無症状病原体保有者：19人)になりました。昨年同期に(36件)に比べ、大幅に増えています。腸管出血性大腸菌は、強い感染力をもっており、食べ物についた少量の菌で感染します。また、タオルの共用などでも感染することがあります。免疫力や体力の面から、乳幼児や高齢者はこの感染症にかかりやすく、重症化しやすいので、特に注意が必要です。腸管出血性大腸菌感染症は、O157を代表として、O26、O111、O103など多くの種類があります。症状には、個人差がありますが、下痢、腹痛、血便、発熱などがみられます。特に血便がみられた場合は、医療機関を受診して下さい。腸管出血性大腸菌は、75℃で1分間加熱することで死滅します。生の食材と加熱後の食品は、必ず別の調理器具で扱うなどの注意をしましょう。

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5ヶ月	6～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	
インフルエンザ	3							1	1						1							
小児科定点年齢	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20歳以上							
RSウイルス感染症	0																					
咽頭結膜熱	33		2	8	3	6	7	5		1	1											
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16			2		1	3	2	4		3											1
感染性胃腸炎	194	7	28	33	21	12	10	11	5	3	11	8	33	6	6							
水痘	29	1		5	9	3	6	1	2		1	1										
手足口病	52		1	14	15	14	5	3														
伝染性紅斑	39		4	4	5	4	7	6	4	1	4											
突発性発しん	41	3	23	15																		
百日咳	2																					2
ヘルパンギーナ	21	1	5	4	3	2	3	2	1													
流行性耳下腺炎	97			4	14	22	13	18	10	2	3	7	2	2								
眼科定点年齢区分	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	21	1											2	4	7	3	1	2	1			
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	2		1																			1
無菌性髄膜炎	1				1																	
マイコプラズマ肺炎	3		1										1		1							
クラミジア肺炎	0																					